

紀元 2636年
西歴 1976年



昭和51年元旦



春 頌

龍は想像上の動物である。体は大蛇に似て背に81の鱗があり、面はあらくれてたけだけ

しく、つ、の、み、ひげを有し水にひそみ空にかけり、よく雲雨を起こすという(りゅう・りょう)写真は、杉八坂神社虹梁の巻龍で昭和47年徳島県山城町大歩危浦辺理盛氏

71歳(長州系宮大工)が1本の樫に200人役をかけて彫刻したもの。(55榧5ミリ角、

長さ4米50榧、大きさは日本一といわれNHK、高知新聞などでも報道された。

ひのえ たつ
丙辰年

持てる力を発輝 一致難局克服に努力

大豊町長 門田盛一郎



町民一致難局克服に努力

明けましておめでとうございませう。昭和五十一年度の新春を迎え、心からお祝いを申し上げますと共に、平素からの町政に対するご理解と御支援に深く感謝申し上げます。昨年の我が町の経済は昭和四十八年以来続けた金銭引き締め政策及び総需抑制政策の効果が浸透し、物価は漸く安定鎮静化の方向をたどってまいりました。一方、経済不況は一段と厳しさを加え、数次にわたる不況対策にもかかわらず、道路網整備、福祉充

谷間のない行政へ

町民の負担に応えん

大豊町議会議長 秋山弘安



大豊町議会議長 秋山弘安

昭和五十一年度の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶申し上げます。昨年は総需抑制政策による不況と物価高の苦しい年でありました。政府においても安定成長のもと景気浮揚策など不況対策に取り組んでいるものの年末の公務労協ストや、混迷した政局の現状を考慮するとき本年も依然として深刻な厳しい年が続くものと思われま



明けまして
おめでとう
ございます

大豊町議会

議長 秋山弘安
副議長 畑山善郎

総務常任委員会

委員長 松岡春美
副委員長 小笠原茂
委員 永森義広
委員 野島孝彦
委員 北村寿啓
委員 岡崎

建設常任委員会

委員長 田辺正克
副委員長 石川澄
委員 小松俊雄
委員 上村辰雄
委員 桑名茂郎
委員 上村周郎

産業経済常任委員会

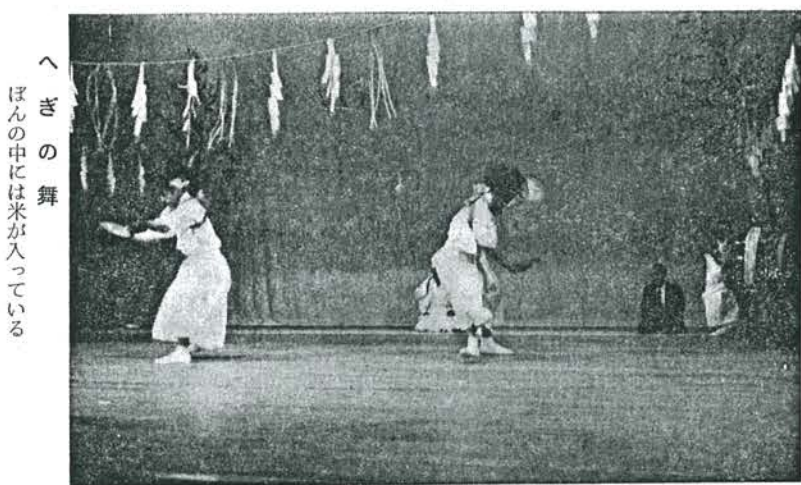
委員長 大坪俊行
副委員長 上村孝男
委員 森本一雄
委員 秋山弘安
委員 秋山石雄
委員 寺石雄

教育民生常任委員会

委員長 桑名芳雄
副委員長 上村明
委員 小笠原四郎
委員 鎌倉繁
委員 小笠原武郎
委員 畑山善郎

議会事務局

局長 重森元龟



へぎの舞
ほんの中には米が入っている

岩原・永楽 町指定文化財に

大豊町文化財調査委員会(都築健康会長)は、町史発刊につづいて、町内の文化的遺産等の調査活動を行っているが、その手はじめとして、教育委員会から諮問を受けた磐原神楽、永楽神楽を本町の無形文化財として指定することの調査、昨年七月十七日答申書を提出した。

これに基づき、教育委員会は八月十六日付で告示するとともに、岩原神楽保存会長下村桂氏、永楽神楽保存会長北村守重氏宛指定の通知書を手渡した。提出された答申内容次の通り。

一、沿革について
この神楽の起源については、その昔、戦乱に敗れた則倉原神社の創祀沿革により、天慶若しくは天曆年中(九三八〜九五六)間、阿波を経てこの地に入ると、六郎重長が伊勢より勧請し、奥荒に社殿を建立し、伊勢大明神として祭ったのがはじまりである。

二、呼称について
この神楽は、前記沿革の示すとおり同種同系のものであるが、両者を区別せずこれを一括して岩原、永楽神楽と呼称することが適当と思われる。

三、特徴及び内容について
神楽に神屋を立て、神主を招いて祭りをし、酒宴を開いて「さんげ」と称する六根清浄の行をおこない十二月の月歌をうたって、時には乱舞し、そのあとその家の庭先で神楽を舞う、これは県下の他にも類例を見ない貴重なものである。

四、保存活動の現状
昭和四十九年十月十二日郷土芸能中国大会(松江市)同十九日県大会(南園市)に出場した。地元においては岩原、永楽共に保存会を結成し、青少年を中心

ふるさとへの信仰芸能

心後継者の育成に努力が、五、まとめ
以上のように検討をすす

責任と自覚と判断と

成人になられた皆さんへ
権利と義務の重みをいかに身に引きこめ、責任の大きさをあらためてみずから心を押す日でもありましょう。

もう未成年のような法律上の保護は一切とられ、自分の責任と判断で行動することが要求されます。親が、車からおりる暗い夜、我が娘に服き物を揃えて差し出す場面なども見かけますが、こうしたことが「親の心子知らず」になっ



双刀の舞



→ 手杵の舞

成人式は一月十五日

該当者は百三十三人

全員参加しよう

町教育委員会では、一月十五日午前十時三十分から中央公民館で成人式を行います。この成人式に該当する方は、昭和四十七年五月十五日付高知新聞により県下全域に専門委員高木啓夫氏執筆「神楽」は文化庁はじめ県内外の関係者に配布され、反響をよび、その価値は極めて高いところから無形文化財としての指定は最も適当

ダイヤル式に変る 東豊永の電話が 1月21日午後2時から

東豊永の公社電話が、きたる一月二十一日午後二時からダイヤル式に変わります。北杉局の電話となり、電話番号も変わりますので注意下さい。

●東豊永への電話のかけ方
電話番号が市内局番「4」の付いた五ケタに変わります。新しい電話番号をよく確認して下さい。

●北杉「2局」「3局」の電話から、東豊永へ電話をかける場合
市内局番加入者番号 4-XXXXX と五ケタの番号をダイヤルすれば、直接相手につながります。

●大久保の電話から東豊永へ電話をかける場合
局の交換手が「東豊永」を出したら「東豊永」の番号をダイヤルして下さい。

成人式で一生懸命働いて自力で、又は一部を親

最近、県内外の市町村では、個人的な理由(髪結いなど)で、成人式の時間におくられた場合は、式場に入れないというところも出ています。一生に一度の成人式の時間におくれないようでは、将来、責任と自覚ある行動が期待出来な

大豊町に住所を有する左に掲げる者で、昭和五十一年三月三十一日現在で満二十才以上の者

一、有権者
二、提出方法及び期限
申請用紙は区長さんが配りますので記入して区長さんを通じて一月十日までに選管必着で提出下さい。

北杉四局のXXXX番へ」と申し出て下さい。

北杉以外の方のダイヤル式電話から、東豊永へかける場合

市外局番「〇八八七七」がつきます。

市外局番、市内局番、加入者番号
〇八八七四XXXX
一〇ケタの番号をダイヤルして下さい。

農業委員会委員
選挙人名簿
の登録申請
について

文部大臣表彰に輝く 大田口小学校PTA



大田口小学校PTA（小笠原四郎会長、平井頼利校長）が昨年八月十七日、永井文部大臣からPTA優良団体として表彰された。当校は、昭和四十六年香川県三豊郡財田町立財田小学校と姉妹校の縁組を結び大いに啓蒙され、組織の強化、活動内容の充実等、社会教育関係団体としてのPTA本来の姿に立った活躍が認められ表彰されたもの。以下活動内容の主なものをひらいてみる。

姉妹校財田小学校を訪問
PTAのお母さんがオーバーヘッドを使って説明してくれました

本校は児童数二二二、校一、七七四人である。下十四部、五七三三帯、一、七七四人である。

十九年度
会費（年額）一、二〇〇円
収入（年額）一、二〇〇円
支出（年額）一、二〇〇円
収支決算（昭和四十九年度）
収入 一、二六、〇〇〇円、
その他の収入（事業収入）
二七、八〇二円、計四〇、
三、八〇二円
支出 事務費二、五七五
円（通信、印刷、事務用消
耗品代）広報費三五、七五
〇円（広報活動関係調査並
に用紙その他）活動費二二
八、九七七円（会費のため
の研修会、講習会、その他
サテライト活動費、会議費、
学年PTA会費（補助）、
環境整備活動費）学校後援
会費七九、〇〇〇円（児童
図書購入補助、教材購入補
助）
副会長五（うち一名は校長）のほ
か各部署に二名の役員と学
生PTA委員から学級役員
各一名、教職員幹事三名を
選出、次の部署を置いて事業
の推進にあたる。各部署の
業務は、
▼広報指導部 広報活動全
般にわたって活躍
▼福祉部 会員の福祉面
の問題に当たる。
これらの各部署は四名の
副会長がそれぞれ兼務し、
部長と各部署委員が仕事を
分担している。会員の職業
は農林業従事者が八〇％で
このうち九〇％が兼務
農家である。父兄と教師間
及び実施に当り活動の中心
となる。

組織の活動内容など優秀 重点は会員の相互研修

年PTA委員から学級役員
各一名、教職員幹事三名を
選出、次の部署を置いて事業
の推進にあたる。各部署の
業務は、

▼広報指導部 広報活動全
般にわたって活躍
▼福祉部 会員の福祉面
の問題に当たる。
これらの各部署は四名の
副会長がそれぞれ兼務し、
部長と各部署委員が仕事を
分担している。会員の職業
は農林業従事者が八〇％で
このうち九〇％が兼務
農家である。父兄と教師間
及び実施に当り活動の中心
となる。

▼広報指導部 広報活動全
般にわたって活躍
▼福祉部 会員の福祉面
の問題に当たる。
これらの各部署は四名の
副会長がそれぞれ兼務し、
部長と各部署委員が仕事を
分担している。会員の職業
は農林業従事者が八〇％で
このうち九〇％が兼務
農家である。父兄と教師間
及び実施に当り活動の中心
となる。

▼広報指導部 広報活動全
般にわたって活躍
▼福祉部 会員の福祉面
の問題に当たる。
これらの各部署は四名の
副会長がそれぞれ兼務し、
部長と各部署委員が仕事を
分担している。会員の職業
は農林業従事者が八〇％で
このうち九〇％が兼務
農家である。父兄と教師間
及び実施に当り活動の中心
となる。

▼広報指導部 広報活動全
般にわたって活躍
▼福祉部 会員の福祉面
の問題に当たる。
これらの各部署は四名の
副会長がそれぞれ兼務し、
部長と各部署委員が仕事を
分担している。会員の職業
は農林業従事者が八〇％で
このうち九〇％が兼務
農家である。父兄と教師間
及び実施に当り活動の中心
となる。

フィリピン人の農業事情

大豊町教育長 渡辺盛男

前号でも述べたようにフィリピン人の農業は、農業であり、就業人口も六〇・二％と高く、これに農業で生活している人達（農業労働者など）を加えると約七〇％といわれる。従って農業所得も全体の三四％と大きい比重を占めている。

米の生産率は極めて低い

農民の唐もろこしといも類

国名	収量	国名	収量
フィリピン	一、〇八	インドネシア	一、七〇
セイロン	一、五七	タイ	一、三三
マラヤ	二、一九	韓国	二、九三
インド	一、三一	日本	四、六〇

（一九六〇、センサス単位トン）
フィリピン人の農業は食用作物と輸出商品の二つからなっているが、耕地面積八百万ヘクタール（一九六二センサス）のうち四分の三の六百万ヘクタールが食用作物に充てられている。その中心はとうもろこしと米である。マニラの後背地をなす中部ルソン平原が穀倉地帯とされている。この地域における農家の一戸当たり耕作面積は二ヘク

タールというが、低生産性。このようにフィリピン人の米の経営の粗放性から収量は極めて低く、経営は私共の想よりも収量が低く、日本の像もつかない。程々細く、それと比べると四分の一に落ちる。また一ヘクタール当たりも満たない。中部ルソンの農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（一）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（二）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（三）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（四）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（五）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

（六）農家の収入は、一頭の牛と、ごく僅かに左表にみる。

